

難防除雑草とイネ縞葉枯病の防除について

1. 雑草イネの発生に注意！！

稲敷地域で雑草イネの発生が確認されています。

雑草イネが甚発生となると水稻の収量が激減します(通常の半分を下回る事例もあり)。



コシヒカリ 雑草イネ① 雑草イネ②
写真1 雑草イネの籾(上段)、玄米(下段)

①と②は別の種類。①の籾はのげが赤色だが、②の籾は「コシヒカリ」と見分けがつかない。



写真2 のげが赤い雑草イネ



写真3 ほ場で穂から籾が脱落した雑草イネ

- ・稲敷地域で発生が確認されている雑草イネは、赤米(写真1)がほとんどです。ほ場での外観は、写真2のようにのげが赤いものの他、「コシヒカリ」等の栽培品種と見分けがつかないものが確認されています。
- ・いずれの雑草イネも **穂から籾が容易に脱落する**ため、写真3のように籾がなくなって立ったままの穂を観察できることがあります。
- ・トラクターによる耕起作業等で土と一緒に雑草イネの種子を別のほ場に運んでしまったり、隣接圃場に種子が落ちてしまったりすることで拡散し、被害が拡大します。
- ・まったく対策を行わない場合、**ほ場全体に蔓延し、収量が大きく減少する恐れがあります。**
- ・雑草イネは”稲”であるため、**水稻に使用できる除草剤は基本的に効果がありません。**



写真4 雑草イネ多発生圃場から収穫した玄米の様子

水稻を作付しながらの雑草イネの防除では、現状**手取り除草が必須**となっているため、蔓延してしまうと防除が非常に困難になります。

早期に発見して防除を開始することが重要となります。

- ・圃場に籾が付いていない穂(写真3)
- ・玄米に赤米が混じっている(写真4)

を見かけた場合は普及センターにご相談ください。

技術に関する問合せ先
稲敷地域農業改良普及センター
TEL 029-892-2934